

テーマ ■ キャリア教育・情報教育の新展開

●活用番組「10min.ボックス 情報・メディア」

コーディネータ 中橋 雄（武蔵大学）

発表者 池田 明（大阪市立扇町総合高等学校）

制作者 渡辺 昭（NHK学校教育番組部）

司会者 杉岡 道夫（東京都立一橋高等学校） 記録者 池上 正子（東京都立小山台高等学校）

1 発表概要

情報社会を生きるために必要な情報活用能力を身につける「情報教育」と生徒の職業観・勤労意欲を育て主体的に進路を選択できるようにする「キャリア教育」には接点がある。

大阪市立扇町総合高等学校における実践事例でのメディアとネットワーク活用についての発表が行われた。1年次必修科目「情報A」と2年次自由選択科目「メディアリテラシー（学校設定科目）」において、「10min.ボックス 情報・メディア」を利用した事例を中心に、ワークシートなども併用して情報教育・メディア教育でどのような成果が挙げられるか、さらにキャリア教育との関連も考察する発表となった。

2 発表協議・内容

渡辺ディレクターから、授業に役立つ番組の紹介があった。「あしたをつかめ～平成若者仕事図鑑～」 「10min.ボックス」である。

「10min.ボックス」については、映像と内容の高い資料性・利用のしやすさ・デジタルなのでウェブサイトで見られる、といった利点を挙げた。

池田発表者から以下の発表があった。

①実践事例

大阪市立扇町総合高等学校では、1年次必修科目「情報A」と2年次自由選択科目「メディアリテラシー（学校設定科目）」があり、情報リテラシー、メディアリテラシーを中心に主体的な情報活用能力の育成に努めている。

ステレオタイプについて—CM等をクリティカルに見るには・報道写真の作り方—伝えるための合成

②ワークショップ 4、5名でグループでワークシート利用

「10min.ボックス」「めざせ会社の星」を見て番

組のプロトタイプを作成する。

ターゲット・タレント・時間帯・メッセージを決める。

実際番組を作る際にはHPを作って書き込みを募り、入念にリサーチをする。

*「祖父母と孫の交流」世代間交流を図る

*「お父さんコーチへの道」地域のサークルでわかコーチを務めるには

*「私の料理」家事手伝い能力とともに食品の大切さを伝える

*「めざせ学校行事の星」行事のアイディアのヒントとコミュニケーション能力の育成

*「自給自足」地球の食糧事情を考えさせる等のプロトタイプができた。

3 指導・講評（中橋コーディネータ）

①情報教育とメディア教育との関連

・自分とメディアと社会との関わりを意識した、将来の仕事とのつながりを意識した教育を。

②ワークショップ

・与えるから思考させる方法へ。

・他者の意見で視野を広げる。正解は一つではない。

・企画作成は、世の中を読み解く力を鍛えること。

③放送番組の活用

・普段見られないものを見せる。

・思考するきっかけを活性させるための素材として活用。

